

ほおづえ会第5代会長に就任にあたって



11期 石村 聖一郎

先日開催された「ほおづえ会」総会において承認を受け、会長に就任いたしました11期の石村聖一郎です。よろしくお願ひ致します。

ほおづえ会も設立17周年を迎え、会長も第5代目となりました。1994年の設立総会には出席者170名、2000年頃までの総会には40名前後の参加があり、いろいろな活動もあり、活発に活動していましたが、近年の総会は10名以下でほぼ役員のみとなっており、活動もごく限られたもので、このままではほおづえ会存続の危機を感じております。今後は少しでも活性化し、同窓会の活動を意義ある物とし、石川高専建築学科の発展に寄与したいと思っておりますので、みなさまの御協力を御願ひ致します。

会則第2条にもありますように、「会員相互の親睦を図り、石川工業高等専門学校建築学科の発展に寄与することを目的とする」を念頭に、卒業生として在校生に協力することと、卒業生(在校生もふくむ)相互の交流を目指して活動をしていきたいと思っております。

まずは、会員のみなさんの積極的な参加と会費納入をよろしくお願ひ致します。



今回の総会後に津幡で懇親会も開催したところ、1期の野手さんから、28期の南村さんまで、合計14名、幅広い年代の方々がそろい、とても盛り上がりました。今後も懇親会も開催しますので、是非御参加下さい。

ほおづえ会からのお知らせ

facebookのお知らせ

会員相互の利便性やセキュリティ対策を柔軟に行えるよう、現在のほおづえ会ホームページ(<http://hoozue.org>)に加え、facebook内にもほおづえ会のページ(<https://www.facebook.com/hoozuekai>)を開設いたしました。

facebookをご利用の方は是非「いいね!」を押してご登録いただき、イベント開催の告知や連絡網等としてご活用いただければと思っております。

サイト利用についてのご不明な点、企画のアイデア、または活用のアドバイス等などありましたらE-Mail:office@hoozue.orgまでご連絡いただければ幸いです。

加えてfacebookページの管理人は複数人の登録が可能ですので、我こそはと思う有志の方の挙手もお待ちしております。併せてよろしくお願ひいたします。

住所変更の届出のお願い

現在ほおづえ会では名簿を発行しておりません。会報などの連絡・郵送のため会員1名につき、住所1つのみを管理しております。住所変更の際には、お手数ですが、下記の名簿担当幹事または事務局までご連絡ください。

e-mail:utd@ishikawa-nct.ac.jp (内田)

尚、ほおづえ会と石川高専の全体同窓会とは住所データの管理は別となっておりますので、お手数ですが住所・勤務先・電話番号などの変更や登録、発行名簿に関する問い合わせは全体同窓会の方へお願ひいたします。

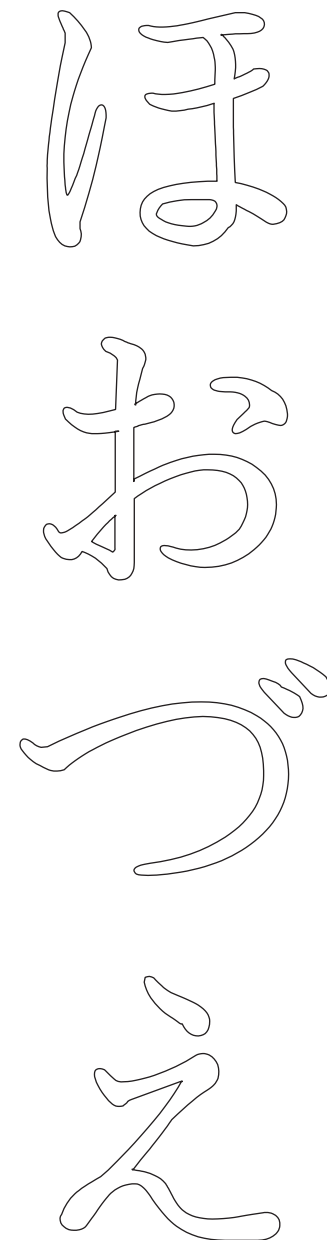
会費納入のお願い

ほおづえ会は、会員の皆様の会費によって運営されています。平成23年度会費(3,000円)の振込用紙を同封させていただきますので、会費納入のご協力をお願ひいたします。

石川工業高等専門学校 建築学科 同窓会会報

Vol.20

<http://hoozue.org>



平成23年12月24日発行

■ 企画編集/ほおづえ会
■ 発行/ほおづえ会事務局

ほおづえ会事務局
(石川工業高等専門学校建築学科同窓会)
〒920-0348
石川県金沢市松村1-131
スタジオ・エム(株)みずほ建築事務所内
TEL / 076-268-3974
FAX / 076-268-3975
E-mail / office@hoozue.org



平成23年10月29日、石川高専建築学科棟2階会場にて平成23年度ほおづえ会総会が、16時より19名の出席者にて行われました。限られた時間ではありましたが、今後の活動の方向性を確認できた有意義な会となりました。

出席された皆様お疲れ様でした。

◎平成22年度 収支決算報告

(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

＜収入の部＞	
・会費(正 3,000円×70名)	210,000
・会費(準 1,000円×203名)	203,000
・会費(卒業生 3,000円×38名)	114,000
・寄付金(櫛田清米寿記念展)	142,000
・雑収入	
・預金利息	184
・前年度繰越金	1,636,240
合 計	2,305,424

＜支出の部＞	
・事務費(ラベル,封筒)	5,370
・印刷費(会報,払込書印字)	52,400
・通信費(会報送料等)	84,160
・事業費(HP維持費)	100,000
・事業費(学校補助費)	200,000
・事業費(櫛田清米寿記念展)	463,656
・次年度繰越金	1,399,838
合 計	2,305,424

◎平成22年度 事業報告

・会報19号発行(平成22年12月)

- ・櫛田清米寿記念回顧展(平成23年3月8日～13日)
- ・石川高専公開講座に協力(平成23年8月)
- ・ホームページの更新、充実

◎平成23・24年度 役員

会 長	石 村 聖一郎(11期)	
副 会 長	山 田 雄 一(13期)	会計担当
	家 山 真(14期)	
常任幹事	山 岸 学(16期)	H P 担当
	村 田 一 也(20期)	郵送担当
	大 杉 建太郎(29期)	広報担当
	東 川 佳 世(33期)	
事 務 局	内 田 伸(20期)	会員住所管理、 学校窓口担当
会計監査	三 谷 創(7期)	

◎平成23年度 収支予算

(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

＜収入の部＞	
・会費(正 3,000円×60名)	180,000
・会費(準 1,000円×200名)	200,000
・会費(卒業生 3,000円×40名)	120,000
・前年度繰越金	1,399,838
合 計	1,899,838

＜支出の部＞	
・会議費	30,000
・事務費	50,000
・印刷費(会報,払込書印字)	50,000
・通信費(会報送料等)	150,000
・事業費(企画)	100,000
・事業費(学校補助)	200,000
・事業費(HP維持費)	100,000
・慶弔費	50,000
・雑費、予備費	1,169,838
合 計	1,899,838

◎平成23年度 事業計画

- ・会報20号発行(平成23年12月)
- ・ホームページの更新、充実
- ・新規事業(懇親会、卒業生後援、インターンシップ協力、紀友祭協力等を検討中)



北村 澄江(21期)

はじめまして、21期の北村です。私は卒業後信州大学へ進学し、名古屋の設計事務所勤務をスタートに、建設会社の現場監督と積算部を経て、現在は小松市内の設計事務所にて働いております。

業務範囲は、個人住宅から工場、福祉施設、公共施設…と幅広く、八年経った今も一人前には程遠いですが、今までの会社での経験や人との繋がりが役立っている事を日々実感しています。

近年は建築士会活動に参加することで、県内だけでなく県外にも多くの同世代建築士の方との繋がりができました。また士会活動で様々な経験を積む事ができたので、少し自分が成長したように思います。

今回は声をかけて頂き、初めてほおづえ会総会に出席致しましたが、幅広い世代のOBが日々頑張っている事を実感しました。今後はほおづえ会でOB・学生とも繋がりを増やしていきたいと考えています。

南村 浩介(28期)

昨年竣工した学生寮(宙寮)の設計を担当させていただきました。私は卒業後大阪で現場監督を経て現在の事務所に入りました。

計画の課題が嫌いだった自分が現在設計事務所に勤めて、学校の寮の設計をするとは学生時代には夢にも思いませんでした。さらに学生時代は決して良い学生ではなかったはずです。

そのような自分が学校の寮の設計をするということはうれしくもあり、非常にプレッシャーでもありました。学校の先生の前に自分の設計したものができるということは設計の課題を現物で提出するようなものです。しかし、終わってみれば先生方に自分の成長をみていただけたのではないかと思います。

現在は県内を中心に様々な用途の物件の設計業務に携わっています。特に担当している来年竣工予定の小学校の工事が日々進んで行くなか、子供たちが使っている状況を思い浮かべながら現場監理を行ない、竣工を楽しみにしています。

これからも現在の仕事を楽しんでいきたいと思っています。

🌀 櫛田清米寿記念回顧展の開催報告 🌀

会報ほおづえvol.18よりお知らせしておりました建築学科名誉教授・櫛田清先生の米寿記念回顧展を、先生の88歳の誕生日に合わせて2011年3月、しいのき迎賓館で開催しました。

館内2つギャラリーを使って開催された同展では、ギャラリーAで金沢市の歴史、文化的景観および保存建造物のスケッチ絵画と、それによる現地取材と保存運動の実践の他、これらに基づく論評、著作を通して行われた社会的啓蒙活動の展示。

ギャラリーBでは、金沢での活動背景となった西欧諸国のスケッチを中心とした身辺創作活動に加え、建築学科卒業生の建築作品も展示しました。

ギャラリーA,Bともに当初の予想を大きく上回る来場者数となりました。また久しぶりに先生を訪ねてくる卒業生の姿も多く、大いに賑わいました。

■企画概要

会 期 平成23年3月8日(火)～13日(日)

時 間 午前10時～18時(最終日のみ17時まで)

入 場 料 無料

総来場者数 1997名

ギャラリーA 927名(内訳 男性403名 女性503名 子ども21名)

ギャラリーB 1070名(内訳 男性489名 女性554名 子ども27名)

【ギャラリーA】

「金沢まちなみ景観スケッチ集成」原画と景観論評など回顧展



ギャラリーA：櫛田先生の金沢まちなみ景観スケッチ作品展

主 催 櫛田清米寿記念展実行委員会

後 援 石川県、金沢市、北國新聞社、テレビ金沢、
石川工業高等専門学校および同校同窓会、

金沢商工会議所、金澤老舗百年會、尾張町商店街振興組合、
社団法人 日本建築家協会北陸支部石川地域会、
社団法人 日本建築学会北陸支部、
財団法人 ライフプランニング・センター「新老人の会」石川支部

【ギャラリーB】

西欧景観スケッチほか身辺創作回顧と賛助・建築作品展



ギャラリーB：建築学科卒業生による賛助・建築作品展

主 催 石川高専建築学科同窓会ほおづえ会

後 援 石川工業高等専門学校および同校同窓会

【お知らせ】

賛助・建築作品展にご出展いただいた卒業生の作品パネルの一部は現在、ほおづえ会のホームページでもPDF形式でご覧いただけます。

【講演会】

櫛田清先生が語る「金沢の景観と魅力」開催報告

4月2日(土)石川四校記念文化交流館にて福井工大・准教授の市川秀和さん(石川県景観アドバイザー・七尾市景観審議会・石川高専建築学科16期生)を聞き手にお迎えして、櫛田先生と対談形式での講演会「櫛田清先生が語る「金沢の景観と魅力」」を開催しました。

大々的に宣伝していないにも関わらず、櫛田先生のお話を聴きたいという方で会場は満席となり、時間が経つにつれ益々情熱的に語られる先生が印象的でした。



同窓の皆さんへ、お礼に代えて

建築学科名誉教授 櫛田 清

皆さんお元気ですか。高専名簿の名誉教授欄では上席になってしまった櫛田です。高専在職は50歳(昭和49年)から現役最後まで13年に、退官後の非常勤7年を加えた20年間、計画と造形を担当しました。初期の皆さんしか面識がないのですが、まずは、この春の3月、88歳の誕生日に合わせた米寿記念回顧展が無事盛況裏に終わったことと、その節、高齢と歩行不安で動けなかった私のため、多方面から戴いた「ほおづえ会」のご支援に、心から厚く御礼申し上げます。

今思えば、私の人生には心に残る節目が2つあった。1つは青年期の戦争体験、もう1つは人生半ばで迎えたオイルショックによる不況の克服のため試みた大阪での初の個展(絵画)が思わぬ収益を生み、それで初めて西欧を訪問し、その体験が人生観上の大転換をもたらした。

前者では進学で文か理かの選択が生死を分けるという厳しい時代的現実を体験した。昭和15年、私の旧中学から私を含め2人が金沢の旧四高を受験したが、そのうち理科志願の私は失敗し、文科志願の親友O君は合格し、順調に大学法科に進んだものの、昭和18年の学徒動員で国に召され、レイテ(フィリピン)の激戦で前途ある命を散らした。堂々たる赤煉瓦の四高本館は青春の思い出として心に残った。昭和20年の敗戦を境に、すべての価値観は逆転し、信じ得るものは自分で探すしかないと悟った。

西洋体験では都市景観とスケッチが建築から都市への関心を誘い、なかでも「全体と部分」の関連性、歴史性に注目した。

景観を描くこと自体が哲学的な思考に私を誘い、喜びを与え、金沢の景観スケッチへと連なった。しかし生来持ち合わせた芸術的欲求は、職場を役人、民間実務、教育界へと三転させましたが、明治以来、行政の縦割社会の日本のなかで、横割の風通し悪さなどの欠点を随所に垣間見た。これが金沢での私の公的審議会等での発言や、社会論評などの根拠となったのです。

パーキンソン病などの持病を抱えながらも、余命を燃やし尽くしたいと思います。皆さんの御多幸を祈りつつ。

●新任職員あいさつ

宮田 桂(みやだ かつら)

今年度より技術職員として採用していただき、建築学科へ配属となりました。主に、材料実験、測量実習、CAD実習でのサポートを中心とし、少しずつ学生のみなさんとの距離を縮めていけているかな？と感じております。

ずっと石川に住んでおりますが、高専へ足を踏み入れるのは初めてでした。出会う学生のほとんどが挨拶をしてくれたこと、授業等での素直な態度にとても驚き心が温かくなりました。先日の学校祭でも遅くまで練習している姿が見られました。クラスだけでなく学年を超えての絆が強いことにとても感動しました。

これから技術職員として、先生方、学生の皆さんのサポートをしっかりと行うために、自身の技術の向上にも常時取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

●4年生研修旅行概要(引率:熊澤・持田・道地・宮田、事務2名)

今年は建築学科2度目の海外研修旅行となりました。

- 11 / 8 富山空港よりソウルへ 入国後ソウル市内へ移動ホテル泊
- 11 / 9 延世大学訪問 建築学科見学、チェ・ムンギョ教授の講話
SUTUGA Co.の建設現場見学
- 11 / 10 世界遺産「昌徳宮」、現代建築家の建築作品が集まるリウム美術館、東大門デザインプラザ、仁寺洞の訪問
- 11 / 11 ソウル(仁川)より富山空港へ 帰国



延世(ヨンセ)大学の雀(チェ)教授との集合写真

●3年生研修旅行概要(引率:森原、村田)

- 11 / 8 福井県児童館、丸岡南中学校(場弘+工藤和美/シーラカンスK&H)、千古の家を見学(県内最古の民家)、芦原青年の家で宿泊
- 11 / 9 一条谷朝倉氏遺跡、開花亭 草庵(隈研吾)、福井県立図書館(楨文彦)、福井県生活学習館 ユー・アイふくい(林雅子ほか) 福井市立美術館 アートラボ・ふくい(黒川紀章) 附属公園:Transtreet 下馬(遠藤秀平)、そのほか車中より、複数の建物を見学。

●今年一年の主な活動

- 平成22年12~01月まで OB・OGによる社会人体験談(全4回実施)
- 平成23年01月 構造家・寺戸巽海氏による特別講演会(石川高専)
- 平成23年03月 建築家・高松伸氏による特別講演会(石川高専)
- 平成23年03月 榊田清米寿記念回顧展+賛助出品展(しいのき迎賓館)
- 平成23年03月 3.11米寿記念展開催中に東日本大震災発生
- 平成23年04月 榊田清米寿記念特別講演会(金沢四高記念館)
- 平成23年04月 技術職員宮田さん着任
3年生に留学生ツェ君(モンゴル)
緊急時を含めGmailの運用開始 学生・教職員
- 平成23年05月 「建築学科第17回ボウリング大会」開催(コロナ)
- 平成23年06月 林千晶氏による特別講演会(石川高専)
- 平成23年07月 体験入学2日間実施
- 平成23年08月 JIA「ドームでドームⅣ」参加で受賞
- 平成23年08~10月まで 学生寮食堂および生協の増改築工事
- 平成23年08月 新・公開講座2つ実施(勝手にデザコン/住宅模型)
- 平成23年09月 建築学会北陸支部大会若手プレゼンテーション賞を受賞
- 平成23年10月 津幡町どまんなかフェスタで間伐材家具抽選会
- 平成23年10月 第38回石川県デザイン展で多数受賞(金沢市教育委員会賞ほか、銅賞3点)
- 平成23年10月 オダケホームコンペで多数受賞(オダケホーム賞ほか2分門で優秀賞3点)
- 平成23年10月 第46回紀友祭およびオープン・カレッジ+ほおづえ会総会
- 平成23年11月 3年1泊(福井)/4年3泊(韓国)合宿研修
- 平成23年11月 「第18回のボウリング大会」開催(コロナ)

●報告 デザイン・コンペティション2011in北海道

第8回をむかえた全国高専デザコン2011は、11月12日(土)~13日(日)にかけて釧路高専(北海道)で開催されました。石川高専からは2部門で学内予選や一次審査を通過した作品が本選参加となり、計3作品が入選となりました(うち1作品は環境都市工学科代表作品)。今回のデザコンは、メインテーマに「ひらく」を掲げ、空間デザイン・構造デザイン・環境デザイン・ものづくりの4部門で学生のアイデアやプレゼンテーション、実際の物のでき具合などを競いました。

■空間デザイン部門：入選(12選/131作品中)

タイトル：まちこうば 指導教員：村田一也
学生：鈴木大樹、杉本真紀、北川麗美奈、前川敏英(以上4名5A)



■構造デザイン部門：入選(13位/53作品中)

タイトル：δ零(デルタ・ゼロ) 指導教員：船戸慶輔
学生：道下龍太郎、小原純平、田中晴菜、永井亘(以上4名4A)、山崎歩(2AC)



来年の開催場所は小山高専(栃木県)です。